

【コース】 総合学習

【コースの概要】

総合学習コースは、以下の2ユニットで構成されている。

1. 総合学習ユニット
2. 達成度評価ユニット

いずれも医師国家試験合格を意識した内容になっている。

【目 標】

ひと通りの講義を受けて臨床実習も終え、6年間の学習の総まとめを行う時期である。今までの学習内容を総括し、さらにはこれらの知識を深めることを目指す。卒業試験および国家試験への対策を十分に意識し、これら試験に合格する実力をつけることも目標としている。

【学習方法】

総合学習ユニットは、各領域の教員による講義形式の演習となっている。いずれも試験の重要事項を中心にした内容なので、しっかり身につける必要がある。達成度評価ユニットは、学内試験および外部模擬試験のユニットである。各々の課題と目標を明確にするためにも、欠席なく参加することが望まれる。

質問等は、授業時間に加えオフィスアワーでも受け付ける。

【評価方法】

1. 総合学習ユニットは、ユニット修了時に MCQ 方式のユニット試験を行う。本試験は卒業試験終了後に行われるが、たとえ卒業試験に合格していても本ユニット試験に不合格の場合は卒業が認められない。ユニット試験不合格者には再試験を用意するが、その形式には記述式試験に口頭試問を加えることを予定している。
2. 達成度評価ユニットは、以下の計算式により評価を行う。評価においては出席率の影響が大きいので、欠席しないことが肝要である。再試験は予定していない。

$$\blacklozenge \text{（ユニット出席率} \times 0.75 \text{）} + \text{（学内実力試験成績} \times 0.25 \text{）}$$

【指定教科書】

- ◆ 各講義の項を参照すること。

【参 考 書】

- ◆ 各講義の項を参照すること。

【備 考】

総合学習ユニット UD：中里 良彦

達成度評価ユニット UD：林 健

【コース】

総合学習

【コースディレクター】

林 健（神経内科・脳卒中内科）

【コンピテンス】

2. 基盤となる医学知識と問題対応能力

【マイルストーン】

- 2-(1). 人体の正常構造と機能の知識を統合し臨床医学に応用することができる。
- 2-(2). 生体の細胞学的、生理学的、生化学的、分子生物学的メカニズムや個体の反応の知識を統合し臨床医学に応用することができる。
- 2-(3). 人の行動と心理について、正しい知識を有し応用することができる。
- 2-(4). 疾患における病因、病態、診断、治療について、知識を統合し応用することができる。
- 2-(5). 人の成長、発達、加齢、老化、死について、知識を統合し応用することができる。
- 2-(8). EBM を正しく理解し、実践することができる。

【評価方法】

- 2-(1). 総合学習ユニット試験（総合学習ユニット）、演習出席および学内実力試験（達成度評価ユニット）
- 2-(2). 総合学習ユニット試験（総合学習ユニット）、演習出席および学内実力試験（達成度評価ユニット）
- 2-(3). 総合学習ユニット試験（総合学習ユニット）、演習出席および学内実力試験（達成度評価ユニット）
- 2-(4). 総合学習ユニット試験（総合学習ユニット）、演習出席および学内実力試験（達成度評価ユニット）
- 2-(5). 総合学習ユニット試験（総合学習ユニット）、演習出席および学内実力試験（達成度評価ユニット）
- 2-(8). 総合学習ユニット試験（総合学習ユニット）、演習出席および学内実力試験（達成度評価ユニット）

【補習および再評価の方法】

- 2-(1). 総合学習ユニット試験再試験（総合学習ユニット）、補講受講とレポート（達成度評価ユニット）
- 2-(2). 総合学習ユニット試験再試験（総合学習ユニット）、補講受講とレポート（達成度評価ユニット）
- 2-(3). 総合学習ユニット試験再試験（総合学習ユニット）、補講受講とレポート（達成度評価ユニット）

ニット)

2-(4). 総合学習ユニット試験再試験 (総合学習ユニット)、補講受講とレポート (達成度評価ユニット)

2-(5). 総合学習ユニット試験再試験 (総合学習ユニット)、補講受講とレポート (達成度評価ユニット)

2-(8). 総合学習ユニット試験再試験 (総合学習ユニット)、補講受講とレポート (達成度評価ユニット)